

じどうかんもあるよ

遊戯室や体育室のあそび場開放以外にも、図書室や交流サロンで過ごすことができます。交流サロンは、児童館のおもちゃや折り紙、塗り絵などで遊ぶことができます。図書室は、読書や宿題をしている人もいます。友だちやきょうだいと一緒に楽しむのはもちろんのこと、一人でも過ごすことができます。

じどうかんも あるよ

はなし
そつと話をきかせてよ
ほつとひと思ついでほしい
きつとちからになれるとおもう
じどうかんはここにあります

—— 隣保館からのお知らせ ——

人権啓発DVD上映会

テーマ: 同和問題

作品: 「おじいちゃんは丹波杜氏 (アニメ17分)」

日時: 9月16日(水)

午後3時半～

場所: 3階 体育室

この作品では、被差別地区の青年が常に向上心を持って酒造りに携わる姿を描いています。仕事に対する姿勢や人としての生き方についても考えていきます。青年の実体験を基に、酒造りに関わる多くの人々の願いや努力を語り継いでいこうという思いを込めて制作された作品です。



総合センターで7月14日に開催した人権啓発講演会の講師の奥田均先生のDVDです



実践の場で、教育の場で、また様々な著作を通して、長年にわたり部落問題と向き合い続ける近畿大学名誉教授・奥田均さん。現在もなお部落差別が存在することについて、豊富な体験や研究実績などを交えて丁寧にわかりやすく講演されている内容が収録されたDVDです。

作品: 「部落の心を伝えたい
番外編 部落差別
～奥田均～(30分)」

日時: 9月18日(金)

① 午前10時～

② 午後1時～

③ 午後4時～

場所: 1階 視聴覚室

人権啓発DVD 新作紹介!

人権啓発映像ソフトライブラリーに新しいDVDが加わりました。
一人2本まで、一週間貸し出しを行っていますので、ぜひご活用ください。

テーマ: 高齢者の人権

作品: 「母のさがしもの 認知症とともに生きる」(32分)

内容: 誰しものが認知症に関わる可能性のある現代社会において、認知症の人が尊厳を保持しながら希望を持ってくらすためには、周囲の人が認知症に対する正しい知識と理解を持つことが重要です。認知症は人によって症状も様々です。本作品ではある家族の視点を通じて、症例を織り交ぜながら描いています。

